

事業実施と地域公共交通計画／生活交通確保維持改善計画との関連について

令和 年 月 日

協議会名：	日立市公共交通会議
評価対象事業名：	地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	<p>日立市の公共交通体系は、山と海に挟まれた細長い平野部を中心に鉄道、バス路線のサービスが提供されており、人口・施設分布や市民の流動等の状況を踏まえると、公共交通の主軸は海岸線に沿った平野部の南北軸となっている。</p> <p>幹線バス路線は基本的に交通事業者を中心としたサービスの維持、向上を目指す、利用者の減少に歯止めがかからない幹線以外の南北軸路線は、住民にとって最適で利便性の高い公共交通ネットワークの確保を図る必要がある。</p> <p>また、山間地区にある中里地区は、路線バスは運行しているものの、停留所から1～2km離れたところに集落が点在しており、タクシーの営業所も地区内に存在しないことから、高齢者や児童など、運転免許を保有しない住民の移動手段を確保する必要がある。</p> <p>令和6年3月には、日立市地域公共交通網形成計画の次期計画である「日立市地域公共交通計画」を策定し、路線バス等の多様な移動手段を活用した公共交通施策により、人口減少や高齢化の進展を踏まえた将来の都市構造と公共交通ネットワークの形成を目指している。また、当計画の実施計画として令和6年3月に策定した日立市公共交通利便増進実施計画では、市内の南北移動における従来の幹線及びひたちBRTを移動軸とした交通ネットワークの再編・構築を実施内容に掲げ、現在、計画を推進している。</p>